



2013年3月25日

米国大統領 バラク・オバマ 様
駐日米国大使 ジョン・V・ルース 様

日本YWCA
会長 俣野尚子
総幹事 西原美香子

米国の「Zマシン」による核実験実施に対する抗議声明

このほど、米国が、強力なエックス線を発生させる特殊装置「Zマシン」を使って核兵器の性能を調べる新たなタイプの核実験を 2010 年以降繰り返し実施していたことが公表されました。

この実験は、核実験場や火薬を使わず核爆発に近い状況をつくり、プルトニウムの反応を確認するというものです。米国は、同装置を用いた実験を、大爆発を伴う臨界には至らないとして、地下核実験などとは別だと位置付けています。しかし、包括的核実験禁止条約(CTBT)の要件には当てはまらないものとはいえ、明確に核兵器の開発を目的にしたものであり、それはかつて核爆弾を投下して数十万人の無抵抗の市民を虐殺し、また劣化ウラン弾によって健康被害を拡散した愚行の繰り返しに向かう行為です。さらに核開発は、原料となる放射性物質の採掘から廃棄物にいたるまで、環境を汚染し、すべての生物を被曝させるものです。被爆国にある NGO であり、またキリスト教の精神に基づく団体である日本 YWCA は、すべての命の尊厳を重んじる立場から、この実験に強く抗議します。

オバマ大統領がプラハでの演説で強調された、核兵器を使用したことがある唯一の核保有国として、核兵器のない世界の平和と安全を追求するという決意を貫かれることを切に要請します。